



令和7年度 看護大いきいきサロン

乳幼児がおられる家庭における 自然災害への備え

新潟県立看護大学 地域看護学 准教授 野口 裕子

【講師より】

おおむね3歳くらいまでの乳幼児は災害時、自ら身を守ることが出来ません。また、清潔な水、栄養価の高い食事、安全な睡眠環境が必要ですが、災害時はこれらの資源が不足し、生命を脅かす可能性があるため、粉ミルク・離乳食・オムツ・玩具などの備蓄が推奨されます。乳幼児がおられる家族にとって日頃から備えておくいいことをご紹介します。

ご家族の皆様だけではなく、お孫さんがおられる皆様、ひごろ乳幼児に関わる保育園・幼稚園スタッフの皆様、子育て支援に携わる皆様のご参加も大歓迎です。

日時

11/20(木)

18:30～19:30

参加費無料

申込期間

10月21日(火)～

11月18日(火)

会場

新潟県立看護大学
第1・2ホール

定員180名

ご来場の皆様へのお願い

※当日、マスクの着用は任意とします。発熱や体調不良の方はご来場をお控えください。

お申込み・お問い合わせ

公立大学法人新潟県立看護大学 看護研究交流センター

電話・FAX・メールのいずれかでお申込みください。

TEL/FAX 025-526-2822(受付時間 平日9:30～16:00)

メール nirin@niigata-cn.ac.jp

ホームページ <https://www.nirin.jp/>

